



令和4年度  
みやの環境創造提案・実践事業  
活動内容

# みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 令和4年度は、前年度から継続して活動を行った1団体と、新たに応募のあった2団体、計3団体に対して活動支援を行いました“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

⇒ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

## 《自由提案》

# 虫との暮らしを豊かに一虫に学ぶ生物多様性

宇都宮共和大学 自然遊びの会バーベナ

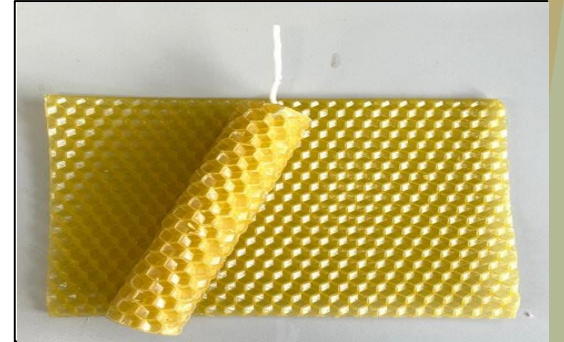
【活動の目的】「虫」のもつ魅力を自然体験等でわかちあい、自然保護の大切さを再認識すると同時に生物多様性の普及促進及び理解を深める。

### 主な活動内容

- 1 身近な生き物である「虫」を多角的に取り上げた教材類を作成し、「虫」と「ヒトの生活」を可視化する試みを行う。
- 2 主催する自然体験行事内で教材類を活用し、行事参加者と関連する人々と共に生物多様性の理解を深める。



虫ランプの作成



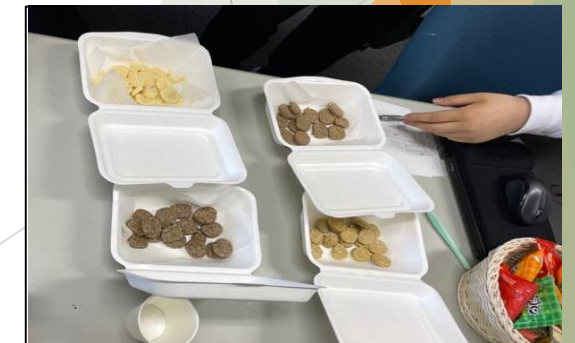
ミツロウのキャンドル作り



虫のランプ作り

### ◆活動の成果や感想◆

- ・ 主催行事で検討したプログラムを実施し、自然体験をすれば、興味関心を持ってもらえることが分かった。
- ・ 自然を大切にしたい気持ちを再確認したと同時に、自然との触れ合いなどを大切にしたい人達と気持ちを共有しあい、関わり会えた時間がとても有意義なものになった。



おうちでできる「虫クッキング」

## 《地域特性を踏まえた生物多様性保全の充実について》

### 鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動

栃木県立宇都宮白楊高等学校 生物工学部

【活動の目的】宇都宮市上小倉地区で激減した希少植物種を対象に、鬼怒川河川敷の生物多様性の調査を行う。宇都宮市上小倉地区保全区の継続管理（除草作業）を行う。希少植物の個体増殖を試みる。

#### 主な活動内容

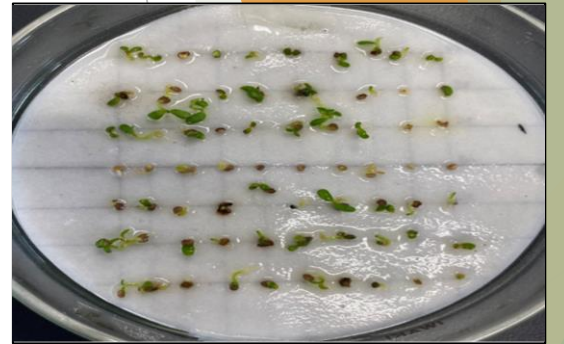
- 1 上小倉地区保全区除草作業
- 2 希少植物現地調査
- 3 実験室から希少植物の可能性を探る



うじいえ自然に親しむ会の皆さんとの活動



除草作業



ミヤコグサの発芽試験



シルビアシジミ

#### ◆活動の成果や感想◆

- ・ 環境保全には定期的な除草作業などの管理が必要。
- ・ バイテクを利用した、実験室から植物の可能性を探る。
- ・ 希少植物の望ましい個体増殖の方法を検討していく。

## 《自由提案》

# 「持続可能な生産消費のための「大豆ミート」の可能性」

宇都宮文星短期大学 栄養士ユニット

【活動の目的】 代替植物たんぱく質としての「大豆ミート」の商品開発をすることによって未来の「食」について考え、さらには栃木県内の大豆生産の可能性の模索

### 主な活動内容

- 1 家畜肉の代替植物たんぱく質としての「大豆ミート」に企業と協働で商品開発から販売までを行う
- 2 栄養士が生産、流通、調理、指導までを学ぶことによって、栃木・宇都宮の「食」の基礎を固め、未来の食へ繋げる

### ◆活動の成果や感想◆

- ・ 今まで廃棄していた食品や着目していなかった食品を調理し、食する貴重な機会となった。
- ・ 人が食する食品の生育から流通までを学ぶことにより、「命をいただく」大切さと、調理・栄養に携わる職業の責任を実感した。



みそ作り



大豆ミートの酢豚



梅干しづくり



ニラの出荷作業



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境創造課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2409

FAX 028-632-3316